

＼ボードゲーム、3D プリンタ、VR シアター…遊びと学びで、社会課題や未来と出会う！／

「いのちの縁日」開催

—体験と対話でつながる、“いのち”と“いのち”のご縁—

【7/12(土)10:30～@中之島センター5階 いのち共感ひろば】

大阪大学社会ソリューションイニシアティブ(SSI)と「いのち会議」は、7月12日(土)に大阪大学中之島センターにて、本学の社会学創拠点「いのち共感ひろば」の一般公開とともに、こどもたちを中心とした市民の皆さまが「いのち」とのご縁を感じられることを目的として、体験型イベント「いのちの縁日」を開催します。本イベントでは、SDGs ボードゲームや 3D プリンタ体験、共感 VR シアターなど、社会課題や未来社会を楽しく・深く学べるアクティビティを多数用意しており、参加者同士の対話や創造の場を通じて、大人も子どもも一緒に未来を考える一日となることを目指します。

当日は、取材いただけるメディアの方に、イベントの様子を撮影いただけるスペースも設けています。

つきましては、本イベントの積極的なご周知と当日のご取材・出席をお願い致します。



世界の人々の生活を疑似体験できる「いのち共感 VR シアター」



社会や社会課題を楽しく学べる
カード・ボードゲーム



地球、科学、社会課題を学べるデジ
タル地球儀「Sphere」



たくさんの絵本や書籍

❖ イベント概要

いのちの縁日

【日時】 7月12日(土) 10:30 ~ 15:30 (10:00 開場)

【場所】 大阪大学中之島センター 5 階「いのち共感ひろば」

【対象者】 小中高校生・大学生・保護者・教職員・一般市民

【参加費】 無料

【申込】 <https://forms.gle/9DxF4QVCNqoFUMkYA>



※右の QR コードからもお申込みいただけます。

※本イベントへの取材ではなく、参加をご希望の方は、こちらからお申し込みをお願いします。

【当日のご案内担当(予定)】

・いのち会議／大阪大学 SSI 伊藤 武志 教授

(専門:経営学。会社や様々な人たちの仕事をより良いものにすること。SDGs のいろいろな分野の仕事をしています。)

・同 宮崎 貴芳 特任助教(常勤)

(専門:電子工学、アフリカ。アフリカでの 2 年の生活もあり。いのち共感 VR シアターを通じ、ぜひ聞いてみてください。)

❖ 今後の開催予定

「いのちの縁日」は今後も毎月もしくは隔月で開催予定です。第 1 回の本イベントでは、創る・感じる・話すという多様な切り口から「いのち」や未来社会との出会いを促進します。

今後の開催日程は いのち会議ウェブサイトにてお知らせします。 <https://inochi-forum.org/>

❖ 会場へのアクセス

住所 〒530-0005 大阪市北区中之島 4-3-53 大阪大学中之島センター5 階

・大阪駅前バスターミナルから大阪シティバス 53 番の中之島四丁目バス停より徒歩 1 分

・大阪駅前バスターミナルから大阪シティバス 75 番の田蓑橋バス停より徒歩 2 分

・京阪中之島線 中之島駅より徒歩約 5 分

・阪神本線 福島駅より徒歩約 9 分

・JR 東西線 新福島駅より徒歩約 9 分

・大阪メトロ四つ橋線 肥後橋駅より徒歩約 10 分

・JR 環状線 福島駅より徒歩約 12 分

・大阪メトロ御堂筋線 淀屋橋駅より徒歩約 16 分

※詳しくは中之島センターHP をご覧ください。

<https://www.onc.osaka-u.ac.jp/access/>



❖ 取材申込について

※ご取材本イベントについて、ご取材いただける際は、会場設営の関係上、7月11日(金)12時までに以下の Web 登録フォームから申請をお願いします。



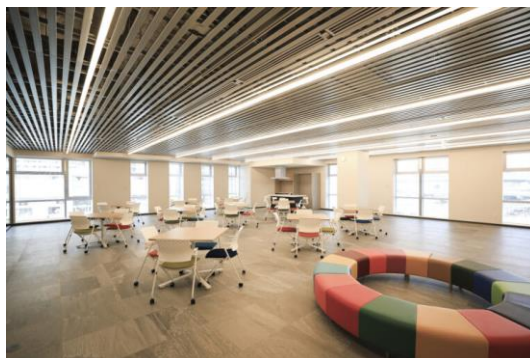
<https://forms.office.com/r/awcaJBD0eE>

❖ いのち共感ひろば について

2023 年4月にリニューアルオープンした中之島センターの5階の「いのち共感ひろば」は、稲盛財団の寄付を受けて開設された社会学共創拠点です。SDGs(持続可能な開発目標)の達成や、万博テーマにある「いのち輝く未来社会」の実現、そして大阪大学 SSI の「命を大切にし、一人一人が輝く社会」の実現を目的として、各種の取組やイベントを行っています。

「いのち共感ひろば」には、これらの目的達成のために必要不可欠と考えられる「あらゆるいのちへの共感」をコンセプトとして、「感じる場」という空間をつくりました。「感じる場」では、360 度の動画を正面・側面・床面に映写し、多くの人々が同時に映像に没入できる VR シアターを設置し、実際に訪れることが容易ではない、さまざまな場所を、大阪中之島に居ながらにして感じることができます。幅広い年齢層が、さまざまな国や地域、場所を体感できます。

大阪大学 SSI 長である堂目卓生総長補佐(万博・SDGs 担当)は、アダム・スミスの研究者です。ひろばは、アダム・スミスが著書『道徳感情論』で描いた人間の「共感」能力を現代の技術で拡張し、人間のコミュニティをさらに広げ、豊かにするための空間としてデザインしたのもでもあります。



この空間は「いのち会議」と大阪大学 SSI の活動拠点として、いのちの輝きを尊びながら SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けて、社会とアカデミアの共創を通じ、多様な人々とともに社会課題に向き合

い、願う未来を構想する場として設けられました。

年齢や性別、国、文化の枠を越えて、さまざまないのちと共感するための場となっています。

(ウェブサイト:<https://inochi-forum.org/action-report/general-event/about-inochi-plaza/>)

❖ 大阪大学社会ソリューションイニシアティブ(SSI) について

大阪大学社会ソリューションイニシアティブ(SSI)は、大阪大学の人文学・社会科学系の研究者が中心となり、理工情報系や医歯薬生命系など自然科学系の研究者、そしてパブリックセクターや民間企業など、多様なステークホルダーと連携し、社会課題の解決と持続可能な共生社会の実現を目指すシンクタンクとして、2018年に設立されました。2050年の「命を大切に、一人一人が輝く社会」を目指して、社会課題解決に向けて取り組んでいます。

(ウェブサイト:<https://www.ssi.osaka-u.ac.jp/>)

❖ 「いのち会議」について

「いのち会議」事業推進協議会(略称「いのち会議」)とは、一人ひとりが地球の上で生かされている「いのち」であるという意識に立ってつながり、声を上げ、聞きあい、考え、話し、ひとつの声にしてグローバルなムーブメントにつなげていく場です。「いのち」とは何か、「輝く」とはどういうことか、「誰一人取り残さない」ために何をなすべきかを、あらゆる境を越えて考え、話し合い、それぞれが行動に移していきます。グローバルな規模での産官学民による共創によって、2025年大阪・関西万博において「いのち宣言」を発信します。2025年以降も「いのち会議」を万博のレガシーとして継続し、SDGsを推進し、SDGsの次のゴールを構想していきます。

(ウェブサイト:<https://inochi-forum.org/>)